



こんにちは

# 村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2018.8.3  
No 162

## みなさんから寄せいただいた 西日本豪雨救援募金 7, 110万円 (7.

31現在)

日本共産党の小池晃書記局長は30日、国会内で記者会見し、西日本を中心とする豪雨災害に伴う党の救援募金の呼びかけに、同日正午現在で総額7110万203円が寄せられたことを明らかにし、「すべて被災地、被災者に届ける。すでに第1次義援金として1950万円を被災自治体に届けたが、第2次義援金は自治体とともに被害の大きい農協や漁協に届けることも検討している」と述べました。

小池氏は「義援金を届けたところでは、非常に感謝されるとともに、県や国に対する切実な要望が出されている」と指摘。被災自治体首長の要望として、「仮設住宅を急いでつくりたい」「災害ゴミの撤去を速やかに進めたい」「国に対しては十分な財政支援を求めたい」「中小企業、小規模事業所、障害者作業所なども被災しており、支援策を講じてほしい」「地場産業の事業所、工場なども被災しているの、企業への補助制度もつってほしい」などの声を紹介しました。

さらに、小池氏は「党中央委員会に直接寄せられた募金には被災者やボランティアに寄り添う思いが込められている」として、「東日本大震災では、全国の方々から応援いただきました。現地にはいきませんが、お役に立ててください」(仙台市の男性)、「ボランティアの交通費にも使ってください」(堺市の男性)など、募金に記されていたメッセージも紹介。さらに、「こんな時は、総理以下、国会をやめて救援の方に力を入れるべきだ。本当に腹が立つ」(兵庫県西宮市の男性)など安倍政権への怒りの募金ともなっていることもあげ、「こうした募金を寄せていただいたみなさんの思いに応じて、党としての支援活動もさらに強めていきたい」と述べました。

(日刊赤旗7月31日付け一面報道)

## 読者のみなさん、ご協力本当にありがとうございます

しつた。~~~~~

## 朝鮮半島の緊張緩和の裏で、陸上配備型イージス防衛システムに巨額の投資！6000億円以上

イージス・アショア導入経費 (単位:億円)

本体	: 2679	} 4664億円	総計 6000億円 以上?
教育訓練	: 31		
維持運用	: 1954(30年分)	} 別途計上	
迎撃ミサイル			
VLS (垂直発射装置)			
電力、燃料費など			

歴史的な米朝首脳会談が行われ、北朝鮮による弾道ミサイル発射の可能性が低下したとして、防衛省は7月30日、北海道と広島、島根、愛媛、高知各県に展開している航空自衛隊の地上配備型迎撃ミサイルPAC3を撤収しました。ところが陸上配備型のイージス防衛システムは強行配備しようとしています。しかもアメリカの納期は6年後。情勢の変化を見ない計画。中止すべきです。

炎暑・酷暑  
お見舞い申し上げます



細谷大池のハス



清浄無垢



今週のパチリ

猛暑・炎暑とは別世界のような細谷大池のハス。今盛りを迎え、清らかな花を咲かせています。「泥中の蓮」という言葉があります。「汚れた環境の中でも、それに染まらず清らかさを保っている」という意味だそうです。

いろいろな汚いこと、道理の通らない事などたくさんある現実ですが、理想を掲げて、凜として生きよと教えてくれる気がします。早朝がおススメ。

# 長野県知事選挙投票日間近

## 金井忠一候補カー、8月1日 お昼頃立科町へ



金井カー 緑の風を巻き起こして全県を駆け巡っている。



SBCの取材を受ける金井忠一候補「弱い立場の人が大切にされる県政を」と語っています。

両手を広げたスタイルで県民に語り掛ける金井候補のラッピングカー。昼食休憩で立ち寄ったお食事処前でメディアから取材を受けた金井忠一候補。手ごたえはどうか、と問われ「手ごたえを感じています。猛暑が続いているので、小中高校の教室にもクーラーを早く設置したいということや福祉医療費の現物給付がようやくみんなの運動で実りましたが、自己負担があります。自己負担を無くして、文字通り無料にすること・給付制奨学金の充実などを訴えると大きな反響があります。しかし一番時間をかけてお話しているのは大北森林組合の問題です。この問題は私しか語れません。現場の職員に責任があるのは当然ですが、それが何年にもわたって続けられてきたのは、県の上層部のかかわりを避けて通るわけにはいきません。なんとしても徹底究明して、二度とこうしたことが起きないようにしなければ、県民に信頼される県政を取り戻せません」と語り、「こうした訴えがどんどん浸透しています」と県政への意欲を示しました。選挙戦もいよいよ最終版。お知り合いの方に金井候補の政策・人柄をお伝えください。



### 地域の話

## 8.2 五無齋先生ゆかりの地を訪ねる

### — 武石小学校訪問 — 五無齋研究会で



五無齋研究会では五無齋先生が訓導校長として赴任した武石小学校を訪ね、学校に残る資料を見せていただきました。武石小学校は地域の材木をふんだんに使い温かみのある校舎でした。また学校の敷地内を疎水が流れており、子どもたちの憩いの場にもなっているとのこと。

校長室にある鉱物標本(長野県地学標本)、写真の他、校長として日々の記録をとっておいした学校日誌(明治29年~31年)が残存し、校長室に大切に保管されていました。校長の網干先生は五無齋先生の人権教育に強い関心があり、「明治の陋習が強く残る時代に、よく同和地区の子どもたちに教育をつけてあげられたその信念と行動力は本当に学ぶべきものです」とおっしゃいました。



織物標本が大切に保存されていた。

鳴龍山妙見寺の天井絵「鳴き龍」



学校日誌には学校で機織についての研修会を開いて100名余が集まったこと、焼き餅石を帝国大学の学生 高壮吉さんが見に来て、現地を案内したことなど、詳細に記されていました。五無齋先生の直筆の学校日誌を私たちにわかるように書きおろしすることが待たれます。研究会として正式にお借りして書き下し、「全文を読みたいものだ」と盛り上がりました。

学校には機織のために、織物見本が何と20シートありました。①シートに6種類の織物が実際に貼ってあり、養蚕だけでなく、機織りも産業として興し、農家の現金収入につなげようとの意欲が迫ってきました。

嬉しかったのが五無齋さんのお芝居の脚本が載っている人権教育の副読本「あけぼの」があったことです。五無齋先生が同和地区の子どもたちを本校で学ばせるまでのいきさつをドラマ化したものです。探していたのでとても感激。研究会でお芝居にして上演して、五無齋さんの偉業をつたえたいものだと思いました。

帰りにはすぐ近くにある『鳴き龍』で有名な鳴龍山妙見寺の天井



絵を拝見。迫力のある龍の姿に「さすが4大鳴き竜図だけのことはある」と感嘆しました。とても暑い日でしたが、実り多い研修でした。

